



平成21年 第6回臨時会

# 会 議 録

(平成21年11月19日)

枕 崎 市 議 会

平成 21 年  
枕崎市議会第 6 回臨時会会期及び会期日程

1 会 期 1 日間 ( 11 月 19 日 )

2 会期日程

月 日 ( 曜 )	区 分	時 間	内 容
11 月 19 日 ( 木 )	本会議	前 9 : 30	1 開 会 2 開 議 3 会議録署名議員の指名 4 会期について 5 諸般の報告 6 議案上程 ( 日程第 4 号 ) 7 提案理由の説明 8 質疑、討論、表決 9 閉 会

# 本 会 議 第 1 日

(平成21年11月19日)

平成21年枕崎市議会第6回臨時会

議事日程（第1号）

平成21年11月19日 午前9時30分開議

日程 番号	議案 番号	件 名	付託 委員会
1		会議録署名議員の指名	
2		会期について	
3		諸般の報告	
4	65	平成21年度枕崎市一般会計補正予算（第4号）	

本日付議された事件は議事日程（第1号）のとおり

1 本日の出席議員次のおり

1番 畠野宏之 議員  
3番 板敷作廣 議員  
5番 村上三工 議員  
7番 原村且元 議員

11番 沖園 強 議員

15番 園田武夫 議員

17番 立石幸徳 議員

2番 牧 信利 議員

6番 今門 求 議員

8番 板敷重信 議員

10番 米倉輝子 議員

12番 豊留榮子 議員

14番 佐藤公建 議員

16番 新屋敷幸隆 議員

18番 依積田義信 議員

1 本日の欠席議員次のおり

4番 茅野 勲 議員

13番 中原重信 議員

9番 上釜いほ 議員

1 本日の書記次のおり

籠原 均 事務局長

橋之口 寛 書記

田代勝義 書記

依積田 光昭 書記

平田 寿一 書記

1 地方自治法第121条の規定による出席者次のおり

瀬戸口 嘉昭 市長

久木田 敏 総務課長

今給黎 力 財政課長

白澤 芳輝 福祉事務所長

山口 英夫 教育長

外 俊則 学校教育課長

本田 親行 財政課財政係長

田野尻 武志 監査委員

中村 秀雄 副市長

山口 英雄 企画調整課長

今給黎 和男 健康課長

永留 秀一 税務課長

畠中 道夫 教育委員会総務課長

春田 浩志 保健体育課長

上釜 和人 健康課健康促進係長

東中川 徹 行政係長

午前9時30分 開議

畠野宏之議長 平成21年第6回臨時会が本日招集されましたが、出席議員15人で定足数に達し、議会は成立いたしました。

よって、開会いたします。

本日の議事日程は、あらかじめ配付いたしてありますので、御了承願います。

これから議事日程に従い、会議を開きます。

日程第1号会議録署名議員の指名であります。本臨時会の会議録署名議員として、8番板敷重信議員、11番沖園強議員を指名いたします。

次に、日程第2号会期についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日としてはと思いますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と言う者あり]

畠野宏之議長 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

次に、日程第3号諸般の報告をいたします。

監査委員から、平成21年度8月及び9月分の例月現金出納検査結果報告書並びに10月に実施した定期監査の結果報告書を受領し、事務局に保管してありますので、御閲覧願います。

以上で報告を終わります。

次に、日程第4号を議題といたします。

市長に提案理由の説明を求めます。

[瀬戸口嘉昭市長 登壇]

瀬戸口嘉昭市長 ただいま上程されました議案第65号平成21年度枕崎市一般会計補正予算(第4号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ3,530万円を追加し、予算総額を102億5,310万円にしようとするものです。

補正予算の内容としましては、新型インフルエンザワクチン接種助成事業をお願いしております。この財源として、地方交付税2,231万6,000円、県支出金1,298万4,000円の増で措置いたしました。

事業の内容につきましては、別途説明資料を添付してございますが、具体的に担当課長に説明いたさせます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わります。

今給黎和男健康課長 ただいま御提案いたしました新型インフルエンザワクチン接種事業について、御説明をいたします。

この事業は、新型インフルエンザワクチンの接種助成事業であります。予算書の末尾の説明資料にありますとおり、助成対象者は妊婦及び基礎疾患を有する者、幼児、小・中・高校生、65歳以上の高齢者などの国が定めた優先的に接種する対象者とされている者のうち、医療従事者及び救急隊員を除く方々を助成対象としているものです。

まず、国の助成対象者としているのは、優先接種者とされている者のうち生活保護世帯及び住民税非課税世帯の世帯員につきましては、予防接種に要する費用、1回目3,600円、2回目2,550円、合計の6,150円の全部を助成するもので、この対象人員が4,408人、助成額1,731万3,000円であります。

また、国の助成対象とならないその他の方についても、市民の健康を守るという立場から、本市の単独事業として接種費用のうち1回目1,800円、2回目1,200円の助成を実施するため、単独事業対象者7,906人、助成額1,798万7,000円をお願いしております。なお今、お手元に配付し

てあります参考資料に基づいて、若干の追加の説明をさしていただきたいと思います。

このチラシは、今回の補正予算成立後、市民の皆様方へ新型インフルエンザワクチンの接種助成についての広報用のチラシであります。チラシの内容につきまして、説明させていただきます。

まず、助成内容は先ほど説明しましたように、生活保護世帯、住民税非課税世帯の世帯員については全額免除、上記以外の優先対象者については1回目が1,800円、2回目が1,200円の助成を行うということになります。なお、優先接種対象者以外の方、19歳から64歳までの健康な方ですが、現在のところ接種できませんということによって表記してあります。

助成の受け方といたしましては、生活保護世帯の方々には福祉事務所で受給者証明書を発行してもらい、医療機関の窓口に出していただいて接種を受けていただくということになります。そして、住民税非課税世帯の家族の方につきましては、税務課の方で課税証明書を発行してもらい、医療機関の窓口に出していただきまして、接種していただくということになります。

なお、この非課税証明書の発行につきましては、無料で発行することとしております。なお、上記以外の方につきましては、1人1回目が1,800円、2回目1,350円を医療機関の方へお支払いください。これは先ほど申し上げました助成金の内容なんですけど、3,600円のうちの1,800円を自己負担として払っていただくということです。以下、1,350円もそのとおりになります。

なお、市内の医療機関以外で接種する方、また今回の予算が成立する前に接種された方がいらっしゃると思いますので、その方々につきましては1回目3,600円、2回目2,550円につき、償還払いで助成する予定としております。なおその際、手続的な問題として接種を受けられた方が医療機関発行の領収証、接種済証、非課税証明書等の各種証明書等、印鑑、償還払いですので、振込先が必要でありますので、銀行の口座番号等がわかるものと一緒に書類として出していただいて、償還払いをするという予定にしております。

そして、ワクチン接種のスケジュールでありますけど、これは国のスケジュール、県のスケジュールあるわけですけれども、現在の鹿児島県のスケジュールでは基礎疾患を有する方というのが11月20日から始まると。妊婦さんにつきましても11月20日から、あと幼児1歳から就学前の方につきましては12月7日から、小学校の低学年1年生から3年生ということになっておりますが、これが12月18日から。そして、1歳未満の小児の保護者の方とか小学生高学年、4年生から6年生ですが、それとあと中学生、高校生に相当する年齢の方、高齢者、65歳以上の方ですが、この方々が1月上旬から中旬にかけて接種が始まるという計画になっております。

なお、このインフルエンザのワクチン接種を一般外来で受けられる医療機関としましては、枕崎市の方と医師会の方と話し合いをしまして、届け出ているものがここに書いてありますように、8医療機関が一般外来の方を対象に接種を行っていただくということになります。

以上、主な点のみ御説明申し上げましたけれども、よろしく御審議していただくよう、お願いいたします。

畠野宏之議長 ただいま上程中の案件については、委員会付託を省略し、本会議において審議してはと思いますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と言う者あり]

畠野宏之議長 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

これから質疑を行いますけど、回数の制限はしないことにいたします。

ただいま上程中の案件に対し、質疑はありませんか。

2番牧信利議員 今、この問題が大きな問題になっているんですけど、ニュースでは前倒しの問題が出てきたりしてきています。以前、市が広報と一緒に配布しました新型インフルエンザワクチン接種についてという表があるんですけど、どの部分でどんな形でこの表と変更がされているのか、ちょっとそこを説明いただきたいと思います。

今給黎和男健康課長 前回、11月6日に市報に折り込みましたスケジュール表と現在のスケジュールの変更点であります。基本的に基礎疾患の方々が12月1日からという部分が11月20日に前倒しになっております。そして、基本的にはその部分が一番変更点になっておるところであります。

なお、この接種時期につきましては、国の方からのいろいろな情報によりまして10月中旬に接種した方々の免疫の出来具合とかそういうものを今検証中であり、今回出してあります前倒し分等も含めて、12月中には再度、接種回数も含めてスケジュール等の調整は行うということになっております。

2番牧信利議員 きょう、いただきました資料でスケジュールの関係がありますが、予約相談開始時期というのが既に11月6日とか、乳幼児の場合は11月16日、小学校低学年これは12月1日となっているんですが、これまで既に予約相談が開始された部分についての状況というのは、市としてはつかんでいるんでしょうか。

今給黎和男健康課長 予約相談の関係でございますが、これも先日、医師会の方ともいろいろお話して情報をいただいたんですが、最初のスケジュールが出されていたわけです。さっき申し上げました11月6日にスケジュール表を出してありますし、国の方もそのスケジュールでやるという前提でやってありましたので、医療機関側の方もそれに基づいてワクチン到着の問題はあるんですが、一応予約はとって、仮予約という形で今とっていらっしゃるということ聞いております。

2番牧信利議員 ニュース等で見ますと、そのワクチンが8名分しか来なかったとかというようなのが報道されている部分もあるんですが、ワクチンの確保の見通しというのか、状況というのか、これは今どうなっているんですか。

今給黎和男健康課長 医療機関の方には接種スケジュールと同時に国の方から示されているのは、大体、月に2回のペースで出荷がされていくということになっておりますが、先ほども議員の方からもありましたけれども、1回目の接種のときとか2回目の出荷の部分とかで、なかなかどの時期に何本入るといふものは明確なものが出されてきていないと聞いておりますし、現実、要望の本数とか量が確保できてないというのが、現時点ではそういうふうになっております。

2番牧信利議員 今、全国的には、いわゆる各県ごとの患者の割合とか、一医療機関ごとの数とかは発表されていますが、枕崎の場合はこの患者発生状況、これはどんなふうになっているんですか。

今給黎和男健康課長 患者の発生状況であります。枕崎市内の部分は一般の分まで含めての状況は、はっきりしたデータは持っておりませんが、加世田保健所管内でいきますと今月9日から15日の間、1週間ですけれども、このときに定点観測という医療機関が指定して、そこから報告いただいてそれを保健所がまとめている数字であります。その数字で1,917名の報告があったと聞いております。

2番牧信利議員 これが実際、開始されたとき、市民の皆さんがどんなふうにもこの予防接種に対応していくのかよくわからないんですが、数としてもかなりの対象者になっているわけですね。そういう点から考えると実際、医療機関の体制も含めて、ある程度きちとした対応をしないと接種希望にスムーズに応じられない状況というのが生まれるような感じもするわけですね。医療機関の体制等について、一遍に集中したらとてもそれはできないし、予約制度をとっているということになっているということですので、そういうこともないかも知れませんが、この接種調査の医療機関自体は独自のまた医療行為を行うという仕事が残っているわけですね。だからその両面の調整等では、どのような形で枕崎の医療機関は対応されようとしているのか、この点をお尋ねします。

今給黎和男健康課長 各医療機関の今回の予防接種の体制でありますけれども、医師会の内部



といいますか、医師会の中でいろいろな情報交換等もなさっているみたいですが、今言われたように集中的にならないように、医療機関ごとでワクチンの入荷量等の確認をしながら、予約制で日を決めて接種するという態勢で臨まれているというふうになっております。

2番牧信利議員 予算の関係でちょっとお尋ねしますが、いわゆるこの説明資料で書いてある補助事業ですよ、国2分の1、県4分の1となっています。補正予算の1ページを見ますと、そこに歳入内訳が書いてあるんですが、県の支出金が1,298万4,000円、これが4分の1というふうに当たるのかどうか。そうすると、今回のこの補助事業による交付税額は幾らになるのか、これを教えていただきたいと思います。ここでの補正額は2,231万6,000円となっておりますから、実際にこの補助事業にかかわる交付税措置はどういうふうになるのか。そうすると、市の持ち出し分は県と同額なのかどうか、この点を聞きたいと思います。

今給黎和男健康課長 補助金のご関係でございますが、補助金は1,298万4,000円となっております。これは生活保護世帯、非課税は低所得者層に対する金額の総額の4分の3の金額となっております。あと残りの金額が、補助事業分の一般財源、交付税で措置されるとなっております。あと単独事業分の事業がありますが、その部分は全額市の単独分でございますので、市費というふうになっております。

2番牧信利議員 単独事業に当たってどんな検討をされたのか、最後に1つ聞いときます。県内の市でも、中学校卒業まで全額補助するというのが新聞報道等で出されているんですが、本市の場合はこの説明資料に書かれているような3,000円の助成という形になってはいますが、単独事業を実施するに当たっての当局の検討というのはどういうふうになったのか、ほかでやっている中学卒業まで無料化するというような検討はされていないのかどうか、その点を最後にお尋ねときます。

今給黎和男健康課長 助成の部分についての考え方というか、そういう部分であろうと思いますが、私どもとしては6,150円の半額程度ということで総額で1,800円と1,200円の3,000円ということで考えたということでありまして。また、優先対象者その他の対象者につきましては、全額補助というのではなくて一部補助ということで、全体の人ということで今回の助成の方法をお願いしてあります。

11番沖園強議員 ただいまお尋ねがありました単独事業の部分なんですけど、この近隣市の取り組みはどういった取り組みをされているんですか。

今給黎和男健康課長 近隣市の状況と申しますと、南さつま市さんが私どもと同じように医療従事者、救急隊員以外の優先対象者に対して初回が2,100円、2回目が1,050円の総額3,150円という助成の内容になっています。南九州市さんについては優先対象者全員に対して、初回が1,500円、2回目が1,500円の総額3,000円という形になっています。また、日置市さんにつきましても、優先対象者全員に対してということで、初回1回目が1,500円、2回目が1,500円というおおむね3,000円という形の助成が行われていると聞いております。

17番立石幸徳議員 まず、先ほどの質疑でも若干触れられました現在の本市の感染状況と言いまし、その患者についてデータを持っていないと。加世田保健所管内の分はわかるがということで1,900人くらいですかね。それはどういったことで本市のみの状況が把握できないんですかね。まず、その点を説明いただきたいと思います。

今給黎和男健康課長 市全体の状況が私どもの方にはっきりとわからない……（「ちょっと聞き取れませんので、ちょっとマイクを使ってわかりやすく」と言う者あり）枕崎市の状況がはっきりわからないというのは、基本的に今回のインフルエンザの関係につきましては、医療機関は県の方に直接報告するというシステムになっている関係でありまして、先ほど申し上げましたように、加世田保健所管内という全体的なことしか、ちょっと把握できていない状況です。

17番立石幸徳議員 本市の状況が正確にというよりも、ほぼ正確に把握しないと先ほどから

出る、例えば単独事業をどうするかというときに当然、その感染度合いがひどいところはいち早く、そして感染を食い止めるためにそれなりの予算づけをして、インフルの広がりを防ぐという考え方になると思うんですね。

要するに、実態がわからないで、ただ、よそもやっているような状況で本市も単独で取り組みますということではおかしくなっていくんじゃないですか。まずその実態そのものをきちっと押さえてそれにどう対応するかと。そういう視点からいろんな取り組みというのはなされるべきだと思うんですけどね。その単独事業をする際も、その辺は全然検討の中では実態報告というのはなされていないんですか。

春田浩志保健体育課長 市内の実態の一部ではございますが、教育委員会の方では市内の小・中学校の罹患の状況については、一応、保護者から学校への連絡を通す形で実態を把握しておりますので、総数とはいきませんが、現在把握している昨日までの状況についてお知らせをいたしたいと思っております。

まず、最初に感染者が出たのは8月だったんですけれども、8月で9名、9月は4名、10月は4名、今月に入りまして114名、昨日まででございます。合計、小・中学生はこれまで131名と把握しております。（「答弁は。答弁出ない」と言う者あり）

畠野宏之議長 ちょっと、答弁が出ないということですから、関連8番。（「いやいや、言うのはちょっとどういう意味ですかね」と言う者あり）

8番板敷重信議員 このワクチン接種の期日は何で決めるんですかね。非常に遅いような気がするんですね。小・中学校で131名も出ているのに、他県ではもう既に済ましておりますけど、そういう日にちはどこで決められているんですかね。県ごとですかね。市ごとですかね。

今給黎和男健康課長 ワクチン接種の時期、スケジュールのことだろうと思っておりますけれども、これは先ほどから申し上げておりますが、国の方で基本的に順番を決めて接種するという形になっております。なお、この場合に先ほどから言いますけれども、国の方からワクチンが供給されるわけですが、それは月に2回のペースで供給されているということでありまして、また製造量との関係もありまして、なかなか要望したワクチンの量が確保できていないというような部分もあると聞いております。

瀬戸口嘉昭市長 先ほどの立石議員の御質問でございますが、私も10月の地区の保健関係の市長等が集まる会議の中で、南薩振興局に対しましてこういう患者の実態については保健所で把握したものを正しく市町村に返してほしいということを強くお願いいたしました。そしたら、保健所の所長さんが5月、6月の状況としてはきちんともう1人出ても報告するようになっていたんですけども、7月から国の対応が変わったため、自分たちも大変困っているというようなことはありましたが、議会等でも強くこういうことが要求され、私たちとしては議会に報告したり市民に知らせる必要もあるので、とにかく適時、的確にそういうことを報告いただくようお願いをしたところであります。

また、ワクチンにつきましては、この前、医師会長等との懇談の中でありましたが、今、病院で困っているのは国からいわゆる割り当ての何分の1という少ない量が、しかも少しずつ分けて病院に届けられる関係で、あっという間になくなって次のめどが立たないというような状況で、病院の方でも困っておられました。

8番板敷重信議員 他県では、もう既にワクチンも小学校、幼児ですけどね、済まれているんですが、枕崎でも市民の方々が本市で間に合わないから鹿児島で済ませてきたという方々もおられますが、予約をとってなくて鹿児島市内の方に行ったら、かかりつけの病院で枕崎市民の方なんですけど、接種ができたということ聞いてます、枕崎の方で。だから、こういう日にちの設定が、非常にこう県によって違うのかなと思って、実際熊本なんですけど、既に……。

畠野宏之議長 板敷議員。それは新型インフルの関係ですか。

8番板敷重信議員 今、このワクチンの予防接種のことです。

今給黎和男健康課長 先ほどから、このスケジュールの関係を何回か御説明しておりますが、これは基本的に国が定めたスケジュールで、新型インフルエンザについては全国的にそこに1週間、10日のずれはいろいろあるとは思いますが、基本的に乳幼児、小さい方の新型インフルエンザワクチンについては、まだ始まっていないと私どもは認識しております。今、議員さんがおっしゃる部分については、季節性のインフルエンザのことではないかと私どもは思います。

11番沖園強議員 ただいま出たように季節性のインフルエンザについても、医療機関ごとによって予約数とかあるいはワクチンの確保の問題で、申し込んであるけど医療機関によっては接種できないというようなことが取り寄せているんですけど、そうするとワクチンの確保で月2回程度の割合で供給されるということだったんですが、今、枕崎市で8医療機関あるわけですね。そうすると、その予約の申し込みの状況とかそういった部分でばらつきがあった場合は、その辺の調整はどうされるんですか。

今給黎和男健康課長 御指摘のとおり、事前予約という形で予約をとっている現時点ではそういう状況でありますけれども、ワクチンの入荷量の問題等がありますけれども、最初の今の段階では思った量が来ない。例えば、100人分要請しても数十人分とかその10分の1とかという形のものが、現在の状態ではなされていると聞いておりますし、そしてまた今後、12月、1月になりますと輸入ワクチンとか国内の方も量がある程度確保できていくということになっておりますので、そこら辺で調整がつくのではないかとということで医師会の方も聞いております。

なお、今回の医師会の内部の中でも、今、議員さんがおっしゃるように医療機関ごとに配分が均等化された形で、現在のところ来ているみたいで、余っているところはないとは聞いておりますけれども、足りないところが圧倒的であるというようなことで、今後、医師会の方としても月に2回の配分があるわけですから、その配分の要請量等につきましては、医師会の内部でも調整をかけながらやって、十分な量を確保していきたいと考えていらっしゃると聞いております。

11番沖園強議員 その均等な配分というのは、医療機関ごとの申込者数によって均等に医師会の方では配分するんですか、どうするんですか。

今給黎和男健康課長 今の均等の配分というのが、県の方で各医療機関に例えば5人分なら5人分ずつ配分すると、そういう意味の均等という1回目、2回目の配分についてはそうなっていると聞いております。

11番沖園強議員 ですから、その申込者数によって調整はどこですのかということですよ。医療機関ごとに違うことがあり得るわけですからほら。その辺の調整はどうするんですか。

今給黎和男健康課長 ワクチン量の配分計画につきましては、県の薬務課の方で全県的な配分計画を作成しております。

11番沖園強議員 ですから、その医療機関ごとに申込者数が違うはずだが、ばらつきがあるはずだが、その辺の調整はどうするのかということですよ。先ほど板敷議員の方から出たように、季節性の部分についても医療機関によって非常に違うんですよ。ある医療機関に行けば、受け付けられたということも生じているわけですよ。その辺のことが生じかねないから、今お尋ねしているんですよ。

瀬戸口嘉昭市長 これは、また正しく調べさせますが、私が先週、医師会長などと懇談したときには、大変このことについても困っておりました。県の方で、医務課の方で配分すると。ただ、その医療従事者の接種も既に始まっているわけですが、一番その病院でも医療機関でさえも絶対数が足りずに、自分自身は若い人からさせて、していないというような話もあって、まだ非常に混乱しております。

7番原村且元議員 助成の受け方のところのイのところ、市外の医療機関で接種する方あとスケジュールのところ、中・高生はこの中・高生に相当する年齢の者、以下、この予約相談

開始時期が未定とこれなっていますけども、今、課長の説明では近隣市町村とさほど変わらない。1～2週間ぐらいの差と言いますが、実際この前、季節性インフルエンザの接種のときに市立病院なんか2～3日間長蛇の列が並んで何時間もかかると。それで8番議員も言いましたけども、鹿児島で受ける方もいると。

特に、1～2週間というのは非常に大きいんで、できるだけ近隣市町村のその状況の把握の体制はどうなっているのかということと、この近隣市町村より遅くなると受験を控えた子供たちは南さつまとか鹿児島に行きたくて受けるわけで、この情報収集の体制はどうなっているんですか、お尋ねします。

今給黎和男健康課長 まず、市外の医療機関で接種される方の助成の関係でございますが、先ほども申し上げましたけれども、償還払いをします。要するに払い戻しをします。ここに書いてありますように領収証とか証明書等を添付していただいて、該当する方については現金で口座振り込みですけれども、現金で本人さんにその助成額を支給するという計画にしております。

また、次のその小学生とか中学生の接種の時期の問題、あと近隣の状況とかということとちょっとお尋ねがありましたけれども、私どもとしては県の全体のスケジュールがこのようになっておりますので、なおかつ先ほどから問題になっておりますワクチンの在庫量、要するに各医療機関に届く量が非常に不透明でありますので、ちょっと何とも申し上げにくいですが、この日程スケジュールに合うように医療機関の方も、ワクチンの量の確保に全力で努めているという状況であると聞いております。

7番原村且元議員 いや、私が市外の医療機関でと言うのは、市内の方でも市外で受けられるんで、この未定だとほかの市町村が早いとそっちに走るという意味で、そういう未定の部分とかを中高生の場合は学校から連絡すれば済むことなんですけども、おくれなくする体制を足並みをそろえていただきたいということで聞いているんですけども。情報収集ですね。

今給黎和男健康課長 先ほどから何回か言いますが、このワクチン接種のスケジュール表というのは県下統一のスケジュールでありまして、基本的にですね。ワクチンの在庫の関係で若干、数日とかずれる可能性は残されておりますが、今議員がお尋ねのとおり、例えば隣接市が枕崎よりも1カ月も早く中・高生等、1月中旬以降という計画になっているものを12月に実施するということはないと考えておりますので、そのように御理解いただきたいと思います。

7番原村且元議員 そんなアバウトな1カ月も早いというんじゃなくて、このスケジュールで1月上旬とか1月中旬ですけれども、これがそんなに日にちが1日だけでも用事がある人、ほかの市町村に走るといってもありますんで、できるだけその辺は足並みをそろえて近隣市町村とやってもらいたいということですね、以上です。

畠野宏之議長 要望でいいですね。はい。先ほどの8番議員の発言、質疑であります。いわゆる旧来型の部分いわゆる季節性インフルの部分等のもありますんで、いろいろ記録を精査の上、市民にいろんな新型インフルのあれと混同されたらまた、いろいろ困る部分もあるようでありますんで精査の上、調整させていただきたいと思っております。

ほかにありませんか。

10番米倉輝子議員 1歳から18歳までの方で1回接種するときに、2回するようになっておりますが3,000円かかります。3人、4人とお子さんをお持ちの市内の女性の方からの声なんですけども、多額の金額がかかるので1人の子に受けさせて、1人の子は受けさせないということではできないので、そこら辺の配慮はないものかという声がございますが、どのようなお考えをお持ちでしょうか。

今給黎和男健康課長 18歳未満の方々につきましては、1人につき3,000円の助成がありますので、そういうふうに御理解いただきたいと思います。

畠野宏之議長 ほかにありませんか。

これをもって、質疑を終結いたします。

これから討論に入ります。

討論のある方の挙手を求めます。

討論なしと認めます。

これから採決いたします。

お諮りいたします。

日程第4号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

畠野宏之議長 御異議なしと認めます。

よって、議案第65号は、原案のとおり可決されました。

この際、お諮りいたします。

本臨時会において議決された案件について、字句等の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

畠野宏之議長 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

これをもって、本臨時会の議事を終了いたしましたので、平成21年第6回臨時会を閉会いたします。

午前10時21分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

枕崎市議会議長 畠野宏之

枕崎市議会議員 板敷重信

枕崎市議会議員 沖園強